



朝の駅頭も継続しています



5/3 県議としての初仕事は博多どんたくでの西新演舞場の開会セレモニー



5/12 有田校区の懇親会でご挨拶させていただきました



5/26 こばすオープン春まつり(田隈中公園)



6/4 荒江の福岡県立福岡聴覚支援学校で医療児ケアの現状と課題について伺いました



5/30 会派での行政視察(写真は豊前市の九州電力蓄電池変電所)



6/7 予算勉強会がありました



6/25 一般質問にたくさんの方が応援に来てくれました

メディア掲載・講演会

- 4/8
 ・西日本新聞「早良区 女性新人が勝ち上がる」
 ・NetIBニュース「【当選者の声】後藤香織さん」
 ・RKB今日感テレビ「政治ウォッチング2019「政治に生活者の声を」女性候補の奮闘」で選挙戦の振り返りや初当選の様子を取り上げていただきました。

- 6/19 「九州明るい未来を考える会」対談
 6/26 西日本新聞朝刊20面

●立て看板 ●ポスター 貼らせてください!!
 ご協力いただける方、ご連絡お待ちしております。



ごとうかおりプロフィール
 1979年 大分県日田市生まれ
 1998年 大分県立日田高校 卒業
 2002年 愛知教育大学 教育学部 卒業
 2014年 ふくおか女性いきいき塾 3期生
 2018年 女性のための政治スクール 修了
 2019年 福岡県議会議員 初当選
 ●南庄在住 夫と子ども3人の5人家族



福岡県議会議員 (福岡市早良区)

後藤香織 県議会報告

後藤香織 県政事務所



各SNSも随時更新中!

〒814-0022 福岡市早良区原3丁目17-38
 五十三萬石ビル 2F
 TEL 092-832-6807 FAX 092-832-6808
 E-mail rikken.gotokaori@gmail.com
 Homepage <https://www.gotokaori.com>



▲連絡先はこちらから

福岡県議会議員としての任期がスタートしました。 地域と県政をつなぎ、県民目線の身近な議員として頑張って参ります

2019年4月7日に投開票が行われました福岡県議会議員選挙では多くの皆さまのご支援・ご支持を頂き、西日本有数の激戦地といわれた中、初当選させて頂きました。お支え頂いた皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。今回の選挙では、地域の課題を認識すると共に、多くの皆さまの声を直接頂きました。県議会議員としては新米ではございますが、この課題や声を実直に県政につなげ、皆さまの生活の向上のために力を尽くして参ります。これからも是非、地域の課題や声をお聞かせください。引き続き、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

福岡県議会議員 後藤 香織



初めての議会で一般質問をし、西日本新聞にも掲載していただきました。

選挙後、初の議会であったこと、また2018年5月に「政治分野における男女共同参画の推進に関わる法律」が議員立法で公布・施行されたことをうけて、質問をしました。

■政治分野における男女共同参画の推進について

- ① 法制定の意義に対する知事の認識について
- ② 統一地方選挙における男女の候補者の状況と知事の認識について
- ③ 法に規定する実態調査等への県の取り組みについて
- ④ 立候補にあたって離職する際の保育所や放課後児童クラブ(留守家庭子ども会、学童保育)の継続入所について
- ⑤ 環境整備のための県の取り組みについて



民主県政議員団の後藤香織議員は、選挙の立候補者が離職した場合、県内の放課後児童クラブに子どもを継続して預けることが可能かを質問。知事は、児童クラブを運営する県内59市町村へ照会した結果、47市町村は「事情を踏まえ判断する、12市町村は「立候補者は就労や疾病などに該当せず、預かりは困難」と回答したことを明らかにした。(前田倫之、大坪拓也)

「2019年6月26日 西日本新聞朝刊20面」

私が特に問題視したのは④です。今回、放課後児童クラブ(留守家庭子ども会、学童保育)においては県内で12市町村が立候補にあたって離職した場合に、受け入れは難しいということが初めて明らかとなりました。このことは子育て世代の立候補の大きな障壁になり、法の趣旨に反すると感じています。県においては広域行政を担う立場から、誰もが立候補しやすくなるよう、行政上の仕組みの結果起こる障壁をなくす姿勢を見せていただきたい、と要望をさせていただきました。現状では、立候補するにしても、しやすい方と障壁が多くある方だと思います。その障壁がなくなり、参画しやすくなれば「政治」という遠いものが、私たちの生活に近づくと思っています。詳細はホームページにて紹介しております。

県議会・民主県政クラブ県議団所属へ
会派の女性県議の比率は3割超え

4月末に、会派結成届が締め切られ、別表の通り会派が決定しました。いずれの会派も過半数には届かず、交渉会派は4会派となりました。

私は、県議会において第2会派である「民主県政クラブ県議団」（立憲民主党、国民民主党、社民党、無所属議員で構成）に所属します。この会派に所属する議員22名のうち7名が女性議員となりました。まだまだ少ない女性県議として女性の視点を活かしながら、これまで県政に届けることができなかった課題を積極的に取り組んで参りたいと思います。



知りたい！福岡県議会

Q.県議会のスケジュールは？
A.県議会は2月・6月・9月・12月の年4回開かれる**定例会**と、必要な時に開かれる**臨時議会**があります。2月定例会は予算審議のため3月まで、9月定例会は決算審議のため10月まで、それぞれ議会があります。定例会及び臨時会において、議員定数の半数以上の議員が議場に出席して開かれる会議を本会議といいます。この会議で、代表質問、一般質問、委員会の審査報告及び議案の採決などを行い、議会の最終的な意思が決定されます。

Q.委員会って？
A.県の仕事は非常に広範囲かつ複雑なので、議案等を能率よく専門的に審査するために、委員会を設置しています。委員会 は、閉会後も必要に応じて審査や調査を行い、県政に反映させるため活動しています。委員会には下記の3つがあります。

議会運営委員会:会期や議事日程など議会の円滑な運営を図る

常任委員会:8つの委員会で構成。私は、行財政対策、消防防災対策、県行政の総合企画及び総合調整、地域振興、国際化の推進などについて審査及び調査を行う「総務企画地域振興委員会」所属となりました。

特別委員会:6つの委員会で構成。私は、子育て支援、働き方改革、男女共同参画の推進、人材育成及び教育施策の充実、少子化・人口減少社会に関する調査を行う「子育て支援・人材育成調査特別委員会」所属となりました。

Q.会派って？
A.県議会における議員グループのことです。届け出を出すことで、会派として認められます。会派の人数が5名以上で交渉会派となり、代表質問をすることができます。

Q.県議会議員は何人いるの？
A.全体で87名です。そのうち女性は9名で、私は女性では一番年下の議員です。残念ながら20代はおらず、30代9名、40代14名、50代24名、60代35名、70代4名、80代1名の33歳～85歳までで構成されています。

Q.県議会議員の歳費は？
A.月額で89万円です。選挙費用や事務所費や運営費、スタッフ雇用、レポート発行など多額の経費がかかっているのが実情です。

Q.政務活動費はあるの？
A.政務活動費は、政策調査研究等の活動のため、会派に対して所属議員一人当たり月額50万円支給されています。その用途は制限があり、公開されています。

Q.議会がない時は何をしているの？
A.地域での活動や行事への参加、相談対応、後援会活動などほぼ毎日予定が入ります。家族との時間が取れないのが悩みです。

交渉会派	人数	うち女性
自民党県議団	39名	0名
民主県政クラブ県議団	22名	7名
公明党県議団	10名	0名
緑友会県議団	9名	0名
日本共産党県議団	2名	2名
自民党進志会	1名	0名
真政会	1名	0名
拓志会	1名	0名
福尽会	1名	0名
政義会	1名	0名

早良警察署が変わります！

早良警察署は明治19年12月に西新町警察署とし、昭和47年5月庁舎を現在地に移しました。

福岡市7行政区で唯一2区（早良区・城南区）を管轄し、市民の皆さまの生活を守ってきました。2022年に「城南警察署」が創設されることが決まり、早良警察署は早良区のみを管轄する新体制となります。

規模は、新早良警察署が約240～300人（現在は371名）、城南警察署が150～200人必要になると見込んでいます。

早良署では平成30年中、性犯罪認知件数が県下ワースト1位でした。発生時における初動調査、鑑識活動等を更に徹底すると共に、的を絞った捜査活動を推進し、検挙の徹底を図っていきます。

●H30年治安情勢

各種事件事故等			前年比
110番件数	24,457件		+828
刑法犯認知件数	2,774件		-203
少年犯罪検挙人数	97人		-59
人身事故発生件数 うち死者数	1,385件 3人		-396 +2

刑法犯認知・検挙状況		前年比
凶悪犯	11件	0
粗暴犯	162件	-71
窃盗犯	617件	+25
知能犯	18件	-8
その他	121件	-25

三大重点目標に関する犯罪発生・検挙状況			前年比
暴力団犯罪 検挙状況	検挙（人員）	17人	-9
	中止命令件数	1件	-2
飲酒事故・ 運転検挙状況	飲酒事故件数	5件	-5
	検挙件数	40件	-7
性犯罪発生・ 検挙状況	認知件数	32件	+16
	検挙件数	19件	+7



福岡県議会 6月定例会報告

6月議会は、6月13日に開会し、7月12日まで30日間の会期で審議が行われました。

予算議案20件、条例議案12件、専決処分3件、契約の締結に関する議案2件、経費負担に関する議案3件、人事に関する議案3件の議案提案がありました。主な条例議案として「福岡県宿泊税条例」「福岡県宿泊税基金条例」や会計年度任用職員の給与、費用弁償および旅費を定める条例などです。

今議会では7月9日までの予定であった予算特別委員会が、九州北部豪雨により一部区間で不通が続くJR日田彦山線の復旧問題での知事の姿勢について紛糾し、審議の再開が議会閉会日の11日という事態となりました。その結果、会期が一日延長となりました。会期の延長は、16年ぶりです。

議会最終日には、43本の議案と、委員会提出議案1件、意見書としてわが会派が提出した「地方財政の充実・強化を求める意見書案」など5本、「調査特別委員会設置に関する決議案」6本が採択され6月定例会は閉会しました。

◎2019年度当初予算のポイント

本県の2019年度一般会計当初予算は、総額が前年度比533億円増の1兆7,858億円となりました。

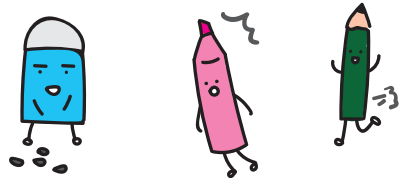
歳出予算は、社会保障費が、幼児教育・保育の無償化等により108億円の増、豪雨復旧・復興や国の国土強靱化緊急対策の活用等により公共事業費は162億円の増、災害復旧費が166億円の増となりました。

歳入予算は、県税等は法人二税や地方消費税の増に

私は6月25日に一般質問をしました。その様子は1ページ目に載せています。

また、会派の代表質問の項目は下記の通りでした。

- ◆**県政推進の基本姿勢について**
 - ・本年度一般会計予算案
 - ・選挙公約に基づく知事の基本姿勢
 - ・「平成29年度7月九州北部豪雨」への支援
 - ・女性活躍先進県
 - ・宿泊税
- ◆**私立高校における働き方改革の推進**
- ◆**中高年のひきこもり問題**
- ◆**旧優生保護法救済法に係る本県の対応**
- ◆**日田彦山線復旧**
- ◆**再生可能エネルギーの活用**
- ◆**児童虐待問題について**
- ◆**園児巻き込み事故を受けた本県の対応について**
(詳細は福岡県議会ホームページにも掲載されます)



より171億円の増。豪雨災害復旧・復興等により国庫支出金は224億円増、通常債は162億円の増。収支均衡を図るため、財政調整基金等三基金から18億円を借り入れるとしています。

参議院議員選挙のご報告

7/21投開票の参議院議員選挙において、福岡県選挙区では「野田くによし」を再び国政へ送り出すことができました。これからも立憲民主党福岡県連合一丸となり、国・県・市が連携して頑張ってまいります。

また、比例区におきましては、8議席をいただくことができました。

今回の参議院議員選挙では、選挙区の投票率が48.8%と戦後2番目の低さとなりました。

悪天候の影響もあるかと思いますが、半分以上が投票をせず、政治が決まるこの状況をどうやったら変えていけるのか、これからも一番の課題として取り組んでまいります。



県政を身近に！ 議員活動の見える化を進めます！